

# チェック表

生産者名:



花き日持ち品質管理認証の要件:生産部門

項目	チェックポイント	基準	評点		備考
			配点	評点	
ハウス(圃場)	清掃	ハウス(圃場)は清掃されているか	5		
採花	採花時間	朝、夕の気温の低い時に採花しているか	5		
	バケツに入れるまでの時間	30分以内	5		
	冷蔵庫に入れるまでの時間	夏季25℃以上の場合は30分以内	5		
前処理バケツ	水揚げの清潔度	ルミノメーター1000RLU以内	5		
	前処理剤の使用	適正な前処理剤の使用	10		キク類、球根類は除外
	バケツの水替え頻度	水道水使用、適宜交換	5		井戸水使用の場合は評点無し
	バケツの保管	清潔な場所に保管	5		
選花場	清掃	清掃されているか	5		
	温度・湿度	25℃以下	5		15℃以下が望ましい
ハサミ	ハサミの洗浄度	ルミノメーター1000RLU以内	5		
保管庫	温度・湿度	適正温度、10℃以下	5		
滞留日数	採花から出荷までの時間	2日以内	10		直接市場に出荷する場合は3日以内
出荷前冷蔵	冷蔵温度・時間	3時間以上冷蔵	5		
輸送時花持ち剤	花持ち剤の使用(湿式)	適正な花持ち剤の使用	5		乾式輸送の場合は除外 右にチェックをご記入ください <input type="checkbox"/> 乾式
出荷所までの輸送	温度	直射日光に当てない 5~15℃	5		
採花日記録	採花日記録	採花日の記録がされているか	10		
お客様対応	コミュニケーション	商品の情報発信、評価の情報収集	5		
	クレーム処理	対応を含めて記録しているか	5		
	栽培記録	農薬・肥料使用量を記録しているか	5		
合計			110		

注1) 着色項目は必須事項。 注2) 日持ちチェックを行い、記録を保管しておいてください。

「評点」には、基準を満たす場合には「配点」通り、満たさない場合には「0点」をご記入ください。

ルミノメーターをお持ちでない場合は、「評点」を空欄のままご提出ください。



## 花き日持ち品質管理認証の要件の解説:生産部門

項目	チェックポイント	解説
ハウス(圃場)	清掃	ハウスを清潔にしないと、病原微生物などの増殖が促進され、それにより灰色かび病などの病害発生などを引き起こす。
採花	採花時間	日中は温度が高いため、収穫したばかりの切り花の品温が上昇しやすく、ダメージを与えやすい。また、日中は蒸散が盛んなため、水揚げしにくい。
	バケツに入れるまでの時間	採花した切り花をそのまま放置すると、導管に空気が入り込み水揚げを阻害する。採花後、できる限り早く水揚げを開始しなければならない。
	冷蔵庫に入れるまでに時間	採花した切り花を常温で放置すると、呼吸により貯蔵糖質を消費し、日持ちが短縮する。
前処理バケツ	水揚げの清潔度	バケツが汚染されていると水揚げを阻害する。そのため、ルミノメーターによる測定値が1000RLU以内のきれいなバケツを使用しなければならない。
	前処理剤の使用	多くの切り花の日持ちは前処理剤の使用により延長する。キク類、球根類除く。
	バケツの水替え頻度	水替えを怠ると、微生物や微生物が分泌した多糖類が集積し水揚げを阻害する。そのため、水は適宜交換しなければならない。
	バケツの保管	バケツが汚染されていると水揚げを阻害する。そのため、バケツは清潔な場所に保管しなければならない。
選花場	清掃	選花場を清潔にしないと、病原微生物などの増殖が促進され、それにより灰色かび病などの病害発生などを引き起こす。
	温度・湿度	呼吸量は温度が高いほど増加し、その結果、貯蔵糖質を消費して日持ちが短くなる。
ハサミ	ハサミの洗浄度	汚れているハサミを使用すると水揚げが阻害される。そのため、きれいなハサミを使用しなければならない。
保管庫	温度・湿度	呼吸量は温度が高いほど増加し、その結果、貯蔵糖質を消費して日持ちが短くなる。そのため、出荷までの間、冷蔵庫で保管することが必要である。
滞留日数	採花から出荷までの時間	切り花の日持ちは限られており、滞留日数が増加すると消費者段階での日持ちが短縮する。
出荷前冷蔵	冷蔵温度・時間	短時間冷蔵しても切り花の温度を低下させることはできない。切り花の温度を確実に低下させるためには、3時間以上冷蔵することが必要である。
輸送時花持ち剤	花持ち剤の使用(湿式)	輸送時に花持ち剤を処理すると日持ちの短縮が抑えられるだけでなく、日持ちを延ばす効果もある。
出荷所までの輸送	温度	直射日光に当たると切り花の温度が上昇し、日持ちが短縮するので直射日光に当てない。また、低温で輸送しなければならない。
採花日記録	採花日記録	日持ちは限られており、採花後の時間経過にともない短縮する。日持ちは採花からの日数として推定できるため、採花日の記載が必要である。
お客様対応	コミュニケーション	日持ちのよい切り花を安定的に出荷するためには、商品の評価に関する情報を収集するとともに、クレームに対する原因を把握することが必要である。また、商品の価値を高めるためには情報発信は欠かせない。
	クレーム処理	
	栽培記録	切り花の日持ちは栽培により影響される。日持ちの改善あるいはクレームに対応するためには農薬と肥料の使用量を記録することが必要である。